

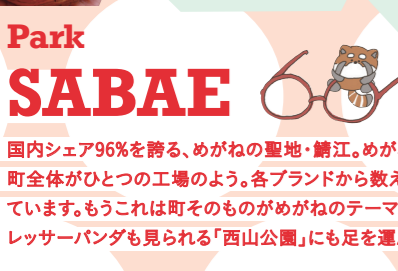
**めがねミュージアム**  
100年続く、鯖江のめがね作り。めがねを見て、触れて、体験できる施設です。体験工房では、めがね手づくり体験を開催しています。(要予約)  
☎ 鯖江市新横江2-3-4 めがね会館  
☎ 0778-42-8311



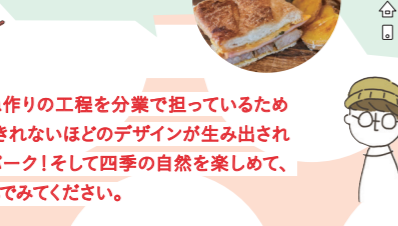
**西山公園**  
「日本の歴史公園100選」認定の、ファミリーで楽しめる憩いの公園。  
☎ 鯖江市3-7-20



**三六サラダ焼き**  
今川焼の型に生地を流し、ハム・カイワレ・特製マヨネーズを入れて焼いた鯖江のローカルグルメ。  
☎ 鯖江市三六町1-6-7  
☎ 0778-54-0690



**鯖江グルメ**  
**ランタンペーパー**  
レトロな駅舎に隣接するカフェ。専用パンに自家製ローストポークとチーズ、ピクルス、ハムを挟んでカリカリに焼き上げた「クマサンド」が看板メニュー。  
☎ 神明駅改札を出て左  
☎ 090-5885-3207



**めだか**  
めずらしい熊肉が食べやすい井になった、その名も「くま井」。SNSから火がついた鯖江の新たな名物。  
☎ 鯖江市桜町1-5-9  
☎ 0778-51-8881



**Old post town KUMAGAWA**



熊川宿は上ノ町(かみんちよ)、中ノ町(なかんちよ)、下ノ町(しもんちよ)という3つのエリアからなる約1kmの街道。江戸時代には民家や店が200戸ほど軒を連ね、番所には1日1000頭の牛や馬が往来したほど賑わっていたそうです。最近では古民家を活かしたカフェや宿泊施設が新たな観光スポットとして注目を浴びています。

**熊川宿の街並み**  
旧逸見勘兵衛家など歴史的建物が並ぶ街道は江戸時代にタイムスリップしたかのような町並み。どの家の前にも「前川」と呼ばれる幅1mほどの水路が流れており、作られた400年前と変わらぬ透き通ったきれいな水が流れています。スイカを冷やしたり野菜を洗ったり、今も暮らしに欠かせません。

**SOL'S COFFEE LABORATORY**  
2019年10月、築130年の土蔵をリノベーションしたカフェ「SOL'S COFFEE」がオープン。毎日飲んでも体に優しい、をコンセプトに東京蔵前と2拠点で運営しています。熊川宿に店を構えようと思ったきっかけは、近くを流れる「瓜割りの水」がおいしかったから。熊川宿のレトロな町並みを名水で淹れたコーヒーとともに楽しんで。  
☎ 三方上中郡若狭町熊川130-6-1  
☎ 10:00~17:00 ④ 火曜・水曜



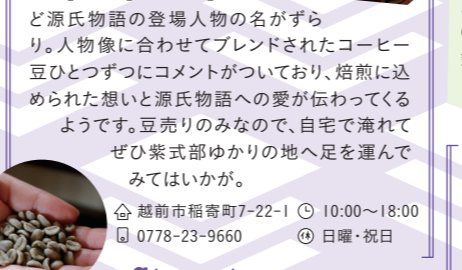
**「ちひろの生まれた家」記念館**  
1918年、いわさきちひろが生まれた町家を記念館として公開。ギャラリーでは企画展が開催され、別館の絵本ライブラリーではゆっくり絵本が楽しめます。  
☎ 越前市天王町4-14  
☎ 0778-66-7112

**かこさとしの絵本館「砾(らく)」**  
「からすのパンやさん」「まさかりどんがさあたいへん」「だるまちゃん」シリーズなどに出てくるキャラクターが勢揃い。たくさんのお絵本が自由に読める楽しい絵本館。  
☎ 越前市高瀬1-14-7  
☎ 0778-21-2019



**村国山**  
かこさとしの絵本「だるまちゃん」シリーズのキャラクターたちが並んで歩く借景に描かれている村国山もあるよ!

**MAMI CAFÉ たちばな屋**  
創業してまもなく50年。趣ある豆棚には「紫の上」「夕顔」「光源氏」など源氏物語の登場人物の名がずらり。人物像に合わせてブレンドされたコーヒー豆ひとつずつにコメントがついており、焙煎に込められた想いと源氏物語への愛が伝わってくるようです。豆売りのみなので、自宅に淹れてぜひ紫式部ゆかりの地へ足を運んでみてはいかがでしょうか。  
☎ 越前市福寄町7-22-1 10:00~18:00  
☎ 0778-23-9660 ④ 日曜・祝日



**Story town ECHIZEN**  
越前市は平安時代の恋愛や政治を描いた世界最古の長編小説「源氏物語」の作者・紫式部ゆかりの地。小説のなかにも武生(たけふ・現在の越前市)の地名が登場します。また、絵本画家・いわさきちひろ、絵本作家・かこさとしの生誕地でもあり、なんとなく「物語」のある町に感じませんか?



**紫式部公園**  
平安時代の貴族の住居、庭園を再現した全国で唯一の寝殿造庭園。池のほとりの釣殿では水面に映る木々や月を眺めて雅なひとときを。



**紫ゆかりの館**  
紫式部が越前で過ごした日々をたどった記念館。越前和紙で作られた十二単をまとった人形は平安当時の主流だった藤原の逢瀬の雰囲気を楽しめます。  
☎ 越前市東千福町21-12  
☎ 0778-43-5013



# COFFEE TIPS

コーヒーの豆知識

自宅にはコーヒー豆と抽出する道具があって、たまにそれを持って浜辺でひとりコーヒーを楽しむこともあるし、旅先で出会った豆はつい購入してしまう程度にはコーヒー好きだと思っていたけれど、このFUKUI COFFEE MAPを作るにあたり、これまでまったく視野に入っていなかった「焙煎機」の存在に気がついた。大きく分けて「直火式」「半熱風式」「熱風式」の3種類があるようだ。

直火式は日本独自で進化した方法で、どちらかといえば力強い深煎り向き。穴の空いたドラムに豆を入れて炙ると、剥がれた薄皮が落ち燃えて、スモーキーな香りが豆に移る。

半熱風式のドラムには穴が空いておらず、剥がれ落ちた薄皮は風で吹き飛ばすため、すっきりクリアな味わい。浅煎りから深煎りまでオールマイティー。

熱風式はあまり浸透していないが、焙煎の自由度が高いためこれから期待されている。

福井の各店に尋ねてみると、半々で直火式か半熱風式。なかにはバーナーの数を増やして火力を増強させたり、遠火にしたりと改造しているお店もあった。すべては「おいしい」のため。これに尽きる。豆の選定から焙煎、抽出までの工程にも正解はなく、ひたすら模索し、進む。そんな気が遠くなりそうな探究心のおかげで、わたしは今日も「ああ、おいしいなあ」ってのんきにコーヒーが飲めている。

**直火式**  
HANDS COFFEE  
MAMI CAFÉ たちばな屋  
平丸珈琲  
Snowcave焙煎工房



**半熱風式**  
POSSE COFFEE  
ポルタの喫茶室  
くじらコーヒー  
coto  
Enzo Coffee



# ACCESS

「福」の付く他県とよく間違われる「福井県」。知名度が高い田舎ではありませんが、ここに暮らす人々は1年を通して豊かな食や名水に恵まれ、日常にちいさな幸福がたくさんあります。訪れるたびにじわじわ感じる福井の魅力。コーヒーとともに、ぜひ味わってみてください。ようこそ、福井へ。



## 福井の玄関口「福井駅」までのアクセス

Train	東京から「北陸新幹線」金沢経由 約3時間20分 東京から「東海道新幹線」米原経由 約3時間20分 名古屋から「東海道新幹線」米原経由 約1時間40分 名古屋から「特急しらさぎ」 約2時間10分 大阪から「特急サンダーバード」 約1時間50分	Highway Bus	東京駅八重洲南口から約8時間20分 名古屋鉄バスセンターから約2時間50分 大阪梅田から約3時間30分
Plane	羽田空港から小松空港 経由 約2時間	Car	北陸自動車道「福井IC」より車で15分

# Fukui Coffee Map

vol.01

おいしい自家焙煎コーヒー店を巡り、その周辺も楽しむプチトリップ。コーヒーを通して、ゆたかな福井を感じてみてください。



**武家屋敷**  
旧田村家の風車棚  
大野藩の家老を務めた田村又左衛門家の屋敷跡。4月末～11月上旬は鮮やかな風車棚が飾られます。  
☎ 大野市城町7-12 ☎ 0779-65-6212

**満天の星空六日師高原**  
環境省の調査で日本一に2年連続で選ばれた大野市の星空。なかでも標高600mに位置する六日師高原では肉眼で天の川が見れる日も。  
☎ 大野市元町12-2 ☎ 0779-64-4848



**COCONOアートプレイス**  
明治期に建てられ、住宅や書店として活用されてきた建物をギャラリーへとリノベーション。「小コレクター運動」によって集められた無名の新進作家の作品などが飾られています。  
☎ 大野市元町12-2 ☎ 0779-64-4848

**モモンガコーヒー**  
コーヒーの味わいの決め手は「水」と考えるオーナー牧野さんが、この地にコーヒー店を構えた理由は「水のおいしい土地だから」。コーヒーって苦い、酸味っておいしくない、そう思っている方こそぜひ名水で淹れた一杯をお試しいただきたい。大野のメインストリート「五番六間」交差点すぐそば、青いモモンガマークが目印です。  
☎ 大野市元町8-17 ☎ 10:00～18:00(土日祝17:00まで)  
④ 月曜・火曜・第3日曜

**Water town ONO**  
名水に選ばれた「御清水」「本願清水」など町のいたるところに名水が湧き出ている名水のまち、大野。軟水で口当たりの優しい地下水で、夏は冷たく、冬はあたたかく感じます。大野の人々は各家庭で名水を汲み上げ、料理やお風呂に使用しているんだとか。

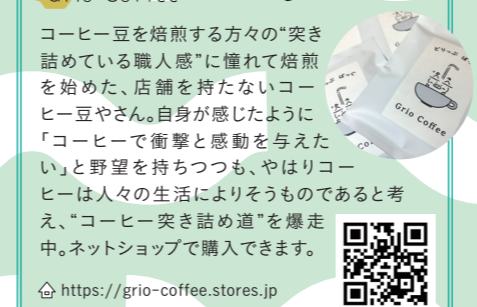


**三国湊 古い町並みを散歩**  
古くは戦国時代より三国は九頭竜川や足羽川を使った水運の拠点として重要視されてきました。江戸中期になり北前船交易が始まると、湊町には廻船問屋や商店、店遊廊にもさかいをみせます。古い町並みとしては、豪商の面影が残る歴史の建造物や情緒あふれる町並みを散策できます。  
☎ https://grio-coffee.stores.jp

**扇 長**  
三味線 茶房 竹よし  
酒まんじゅう 店ごとに焼き印が違ふ三国名物。  
鶯餅(うぐいすもち) 300年の歴史を持つ上品な和菓子。(大和甘林堂)

**サンセットビーチ**  
さらさらした細かい砂で遠浅の海水浴場。8月には北陸最大級の水中心花火が楽しめる三国花火大会が開催される。  
**東尋坊**  
見事な自然の造形美を全身で感じられる。切り立った崖は上からも下からも壮観。  
**Brilliant Heart Museum**  
神の島「雄島」を一枚の絵画と見立てたミュージアム。(坂井市三国町安島字26-21・要予約090-6819-9956)

**Grio Coffee**  
コーヒー豆を焙煎する方々の“突き詰めている職人感”に憧れて焙煎を始めた、店舗を持たないコーヒー豆屋さん。自身が感じたように「コーヒーで衝撃と感動を与えたい」と野望を持ちつつも、やはりコーヒーは人々の生活によりそうのものであると考え、「コーヒー突き詰め道」を爆走中。ネットショップで購入できます。  
☎ https://grio-coffee.stores.jp



**ポルタの喫茶室**  
DIYで作ったカウンターや席札、ゆるいタッチのイラストが描かれたドリッパッグにグッズ、店奥には木工房、と夫婦ふたりのワクワクをかたちにした「ポルタの喫茶室」。コーヒーのそばにあると嬉しいもの、たとえば花や本を楽しめるイベントも開催しています。“どこにもない”を目指した自家製フランス食パンはぜひお試しください。  
☎ 坂井市三国町運動公園2-1-1  
ライフショップポートタウン北東  
④ 7:30～18:00  
④ 木曜・金曜



**POSSE COFFEE**  
「まちのコーヒー屋さん」をコンセプトに2013年、地元・三国にオープン。開放感のある壁一面の大きな窓からは、その日その時の表情ゆたかな光が射し込み、黄昏時には夕焼けがぼつりとお店を包み込みます。「雄島」や実在した遊女「哥川」の名が付けられたブレンドの他、自家製ペーグルや昔ながらのプリンもおすすめ。  
☎ 坂井市三国町運動公園2-18-20  
☎ 0776-43-0188  
④ 9:00～18:00  
④ 火曜・水曜



**North Seaside MIKUNI**  
福井県の最西に位置する三国。古くは北前船の停泊地として栄え、今でもその名残を感じられる古い町並みや建物が残っています。サンセットビーチから浜地海水浴場まで個性の違う大小いくつもの海岸があり、夏になると海水浴客が多く訪れる海の町です。



**City FUKUI**

**HANDS COFFEE**



コーヒーはメインじゃなくて最高のサブ。人と人のあいだに、人と本のあいだに、人とタバコのあいだに、その存在を主張することなく、あるもの。そう話すのは、昭和を彩った純喫茶、その喫茶店文化に惹かれたオーナー伊藤さん。出されるコーヒーも当時主流だった、どっしりとした深煎り。嗜好品らしい大人の余裕を感じるコーヒーを。  
☎ 福井市中央1-22-13 ☎ 11:00-20:00  
☎ 0776-28-7108 ④ 火曜

**Snowcafé 焙煎工房**

昭和8年に建てられた古民家を大正ロマン溢れるカフェにリノベーション。工学博士でもある代表が“おいしいを科学”した究極のシフォンケーキと自家焙煎コーヒーを提供しています。シンプルな素材で作られるケーキに寄り添うようなシンプルな味わいに仕上げられたブレンドは、プレーン、抹茶、チョコ、どのシフォンとも相性ばっちりです。  
☎ 福井市荒木新保町31-21 ☎ 10:00～17:00  
☎ 090-9769-5222 ④ 月曜・火曜



**EnzaCoffee**

今のコーヒーシーンを牽引する世代が憧れ、師にあおぐ方も多く、コーヒー文化の草分け的存在。生産地へ買い付けにも赴き、農園主の思い＝豆の良さを存分に引き出しつつ、お店独自のおいしさも追求しています。嶺北・奥越は無料配達可能。  
☎ 福井市西谷1-1520 ☎ 0776-33-5400 ☎ 10:00～18:00 ④ 月曜・第2火曜

**WoodWood Coffee Roast Service**

東京から拠点を移し2021年5月オープン。福井のコーヒー文化は食文化と同じく多様で盛ん。自宅でドリッパして楽しむ方も多く、そんな方には同じ豆でも違う道具で淹れると新しいおいしさに出合えることも知ってほしいと、店内は実験室さながらさまざまな道具が並びます。豆は常時20種類ほどが並び、なかでもおすすめは直火焙煎の深煎り。  
☎ 福井市成和1-2231 WVVビル1F ☎ 10:00～18:00  
☎ 050-3395-5115 ④ 木曜

**JA福井県農産物直売所「喜ね舎 愛菜館」**  
こだわりを持って育てている地元農家の新鮮野菜などを販売。熟練の職人が作る「おはぎ」は毎日売り切れ必至の大人気商品。  
☎ 福井市河増町9-10-1 ☎ 0776-52-8311

**垂谷朝倉氏遺跡**

戦国時代103年間にわたって越前国を統治していた朝倉氏の城下町跡。当時の町並みがほぼ完全な姿で発掘され、国の重要文化財・特別史跡・特別名勝に指定されています。  
☎ 福井市城戸ノ内町 ☎ 0776-41-2173

**足羽川をお散歩**

福井市の中心を流れる足羽川。風が通り抜ける気持ちいい川辺をコーヒー片手に散歩はいかが。春には兩岸2.2kmに渡り、約600本の桜並木が町を彩ります。



**cdto**

福井のとあるカフェで飲んだコーヒーのおいしさが忘れられなくて自家焙煎コーヒー店を始めた店主の田中さん。なかでも明るくてフルーティな香りと甘みが感じられる浅煎りが大好きで、大得意。抽出時のひと工夫でしっかり個性を引き出します。店内には教員にちなんだものやセレクトされた雑貨が並んでいます。  
☎ 敦賀市神楽1-4-8 ☎ 11:00～19:30(金曜、土曜は23:00まで)  
☎ 0770-36-1906 ④ 不定休

**平凡珈琲**

気比の松原にほど近い住宅街、自宅の一角に建てた素敵な小屋。そこには希少な「手廻しロースター」を使って焙煎する藤原さんの姿が。このロースターには温度計も排気装置もなく、信じるのは自分の感覚のみ。そんなところにロマンを感じているのだそう。豆の薄皮も一緒に焙煎するため独特のヌメーキーな香りが楽しめるのが特徴。  
☎ 敦賀市柳川95-7-8 ☎ 090-9761-7807(購入は要予約)

**敦賀赤レンガ倉庫 (株)若狭物流(旧敦賀)倉庫**

かつて石油や昆布の貯蔵に使われていた倉庫には、古き良き国際都市・敦賀の町並みを再現したジオラマやレストラン、カフェが入っています。  
☎ 敦賀市金ヶ崎町4-1 ☎ 0770-47-6612

**Historic monuments TSURUGA**

福井県の南西に位置する敦賀。その昔、欧米国際連絡列車の日本側の入口として、また、「命のビザ」を抱えたユダヤ難民の受け入れなど、国際交流が盛んな地域だけあり、歴史的建造物もモダンなものも多く残っています。

